

平成25年度 教育執行方針

生徒指導につきましては、昨今全国的に大きな社会問題となつております。すとともに、昨今全国的に大いじめの問題や不登校について、各学校と連携を密にし、児童生徒一人一人の状況把握に努め、情報交流を定期的に行うなどいじめの未然防止、早期発見に努めて参ります。また、学校教育の中で児童・生徒などの日常生活について、適切な指導・助言を行ふことによって、その人格形成を助ける活動とともに、自己実現できる資質や能力を育てるよう努めてまいります。

◎進路指導

児童生徒が将来の夢や目的意識を持ち、自己実現ができる能力を育むとともに、望ましい勤労観や職業観を身につけることが重要であります。そのため、中学校においては生徒が自分の特性について認識を深め、将来の生き方を見据えた進路選択能力を發揮することができるよう、進路相談や情報の提供、体験入

学の実施に努め、指導の充実を図つてまいります。

◎学校施設整備

学校施設整備につきましては、日高中学校大規模改修事業に着手するほか、厚賀中学校屋根改修工事、富川小学校プールトイレ改修工事など各学校施設の補修や維持管理に重点をおいていきたいと考えています。

また、教育用コンピュータ整備につきましては、年次計画により、本年度は日高小学校を更新整備するほか、引き続き各学校の施設設備の安全点検と理科教材や図書備品など教育環境の整備拡充に努めてまいります。

高校教育と 産業学習制度

◎日高高校・ 産業学習推進制度

次に高校教育と産業学習推進制度について申し上げます。少子化に伴う高等学校の適正化計画が更に進むなど、高等

く変化しており、このような状況の中での生涯学習社会における多様なニーズに応える

高等教育の機関として、我が町の町立日高定期制高等学校の存在は益々重要であると認識をしております。同校においては、全国に誇れるユニークで特色ある教育活動として定着した「産業学習推進制度」との連携・融合をさらに進めてまいります。

校舎の整備につきましては、昨年度、日高高校校舎改築検討委員会の答申に沿い策定されました「校舎改築基本計画」に基づき、本年度はその実施設計に取り組むこととし、改築に向け具体的な作業を進めてまいります。併せて、現高校体育館につきましても一部修繕等整備を進めてまいります。

生徒の確保につきましては、なお厳しい状況は続くものと思いますが、今年度より拡充されました北海道立富川高等学校と同様の新たな高等学校等への各種支援策と併せ、引き続き魅力ある高等学校とし、今後の生徒確保に向けて、積極的な広報・募集活動を取組みます。

社会教育

は、高等学校と連携し、積極的な募集活動を実施してまいりました。平成25年度入講予定者は、現在17名が決定しており、二桁の入講生の確保となりました。

本町では、平成24年度を初年度とする第一次日高町社会教育中期計画に沿って、関係団体や町民との協働のもと、が図られる人材育成など、特色ある教育制度として定着し、地域振興を図る上でも多くの成果を挙げてきたところです。今年度は、検討を加えたコース制の検証を踏まえ、各コースの質的な拡充を更に図つてまいります。

入講生募集につきましては、高等学校と連携し、積極的な募集活動を実施してまいりました。平成25年度入講予定者は、現在17名が決定しており、二桁の入講生の確保となりました。

◎家庭教育

家庭教育についてであります。ですが、次代を担う子どもたちの健やかな成長に関しては、家庭での教育の充実とともに、心豊かな人間性や生きる力を身につけるために、異年齢層や地域の人たちと交流する機会を地域社会全体で作つていくことが必要であります。そのため、「親と子のふれあい教室」を中心に、家庭における様々な情報提供や親の果たすべき役割等について、学習機会を通じ推進してまいります。

次に社会教育について申し上げます。

現在、少子高齢化や高度情報化、グローバル化の進展する中、町民一人一人が充実した心豊かな生活を送るために、生涯のいかなる時期から

活動を推し進めてまいります。

教育委員会主催事業としての産業学習推進制度（日高高等学校入学必須条件）は、高校の存続と、多くの体験学習を通してたくましい人格形成

で学び、その成果を地域に活かしていくことが求められています。

本町では、平成24年度を初年度とする第一次日高町社会教育中期計画に沿って、関係団体や町民との協働のもと、が図られる人材育成など、特色ある教育制度として定着し、地域振興を図る上でも多くの成果を挙げてきたところです。今年度は、検討を加えたコース制の検証を踏まえ、各コースの質的な拡充を更に図つてまいります。

入講生募集につきましては、高等学校と連携し、積極的な募集活動を実施してまいりました。平成25年度入講予定者は、現在17名が決定しており、二桁の入講生の確保となりました。

本町では、平成24年度を初年度とする第一次日高町社会教育中期計画に沿って、関係団体や町民との協働のもと、が図られる人材育成など、特色ある教育制度として定着し、地域振興を図る上でも多くの成果を挙げてきたところです。今年度は、検討を加えたコース制の検証を踏まえ、各コースの質的な拡充を更に図つてまいります。

◎青少年教育

青少年教育についてであります。青少年の非行防止と健全な環境づくりに向けて、家庭・学校・地域社会の連携を深め、巡回指導や専任相談員による健全育成の環境確保に努めるとともに、地域活動の底辺拡大のためにリーダー育成事業の推進、充実を図つてまいります。また、安全、安心な子どもの活動拠点を設け「放課後子ども教室推進事業」を本年度も実施してまいります。さらには、学校と地域、家庭が一体となつて青年の健全育成を図るために地域住民が学校ボランティアとして活動する「学校支援地域本部事業」につきまして今年度も引き続きその推進に努めてまいります。

◎成人教育

成人教育につきましては、自己に適した手段、方法で学習活動を促進する必要があると考えます。そこで成人の特徴を的確にとらえ、成人期に必要とされる学習機会の情報提供に努め支援してまいります。また、学習意欲は、個人個人に

よつて違い、非常に多様であり、成人期の特徴でもあります。その中で高校開放講座として教養や技能を提供する事業や料理講習会等共に生きる地域社会、共に学ぶ生涯学習社会の形成に努めてまいります。

◎高齢者教育

高齢者教育につきましては、豊かな活力ある長寿社会を迎えるためには、個々の生き方を見つめ直し、健康で生きがいのある生活が必要になります。高齢者の方々に充実した生活を送つてもらうため、共に生きる誰もが生活に必要なことを学んでいくことが大切なことです。そのため引き続き高齢者大学「ことぶき学園」「沙流川大学」を通して積極的に趣味、特技を磨くとともに、教養を高め、生きがいを創出できるよう支援をしてまいります。

◎文化活動の振興

文化活動の振興につきましては、町民の方々へ心に安らぎと潤いをもたらし、音楽、演劇、美術、文芸活動が文化団体や愛好者等を中心に行わ

れていることから、さらなる支援、充実を図つてまいります。こうした町民とともに進める町民主体の事業、企画、運営あるいは協働による個性に満ちた、芸術文化の鑑賞、創造の機会を提供して、幅広い活動に努めてまいります。

図書館郷土資料館、日高山脈博物館の整備、充実については、生涯学習の情報の拠点として機能を高め、新しい資料の充実、情報化の推進、他機関との連携、協力を推進するとともに、心の豊かさを育むサービス向上を目指してまいります。

また、国、北海道の指定を受けた有形、無形の貴重な郷土の文化財や文化遺産を保護、保存し資料の収集、調査、研究と様々な教育支援を行うための施設及び体制を整え適切に対応してまいります。

社会教育事業の広域化につきましては、他町との交流、連携することにより活動がより豊かになり、お互いを高めあえるような体験や学習の機会が提供できるよう努めてまいります。

◎スポーツの振興

スポーツ振興についてであります。ですが、スポーツは、体力の向上や心身の健康保持、増進に寄与するとともに、地域住民に多くの夢や感動を与え、活力ある町づくりの形成に大切な役割を果たしていくま

す。このため、町民一人一人が体力や年齢に応じて気軽にスポーツに親しむことができるよう町民スポーツの集いや各種大会等、スポーツ事業や豊かな自然を活用したアウトドアスポーツの促進に努めてまいります。さらには、町の生涯スポーツ振興の中核を担っているスポーツ少年団、体育団体との連携のもと地域の特性を生かしつつ、あわせて総合型地域スポーツクラブの活性化及び魅力ある地域づくりを進めてまいります。

高地区においては、社会体育施設等8施設の管理運営を町長部局へと移管し、各施設の更なる有効活用を図ることとしております。また、本年度は、門別地区にあつては防災整備対策と併せて、門別総合運動場へと移管し、各施設の管理、整備等について充実を図つてまいります。なお、日高地区においては、社会体育施設等8施設の管理運営を町長部局へと移管し、各施設の更なる有効活用を図ることとしております。また、本年度は、門別地区にあつては防災整備対策と併せて、門別総合運動場へと移管し、各施設の管理、整備等について充実を図つてまいります。なお、日

以上、平成25年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げました。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎施設の整備

社会教育・スポーツ施設は、地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、住民の多様な学習活動を支援するとともに、それぞれの地域における